



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月9日

上場会社名 太陽誘電株式会社

上場取引所 東

コード番号 6976 URL <http://www.ty-top.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 登坂 正一

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 経営企画本部副本部長 (氏名) 福田 智光

TEL 03-6757-8310

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

2020年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	140,222	1.2	19,126	5.8	18,183	5.2	11,442	25.4
2020年3月期第2四半期	141,908	6.2	20,298	38.1	19,176	24.6	15,332	39.6

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 12,837百万円 (36.2%) 2020年3月期第2四半期 9,427百万円 (27.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	91.16	90.91
2020年3月期第2四半期	121.27	120.98

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	375,980	221,200	58.7	1,757.43
2020年3月期	343,122	210,454	61.2	1,672.40

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 220,588百万円 2020年3月期 209,891百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		11.00		15.00	26.00
2021年3月期		15.00			
2021年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	284,000	0.6	34,000	8.5	33,000	6.2	22,000	22.1	175.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	130,218,481 株	2020年3月期	130,218,481 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	4,700,468 株	2020年3月期	4,715,775 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	125,509,275 株	2020年3月期2Q	126,427,341 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
決算説明会にて使用した資料等については、開催後速やかに当社のホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
3. 補足情報	9
(1) 製品別売上高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年9月30日まで)における当社グループを取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大の影響により経済活動が抑制され、第1四半期連結累計期間において世界景気は極めて厳しい状況でしたが、徐々に持ち直しの動きがみられました。先行きについては、各国が経済活動の活性化と感染症拡大防止の両立を目指すなかで、感染症の動向や各国の通商問題、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

当社は、新型コロナウイルスの感染拡大を防止し、従業員や取引先をはじめとするステークホルダーの皆さまの健康と安全を考慮し、BCP(事業継続計画)に基づいて各種対応策などを実施しています。国内外の生産拠点においては、各国政府および自治体の指示や指導に従いながら、感染防止策を徹底した上で生産活動を継続しています。また、生産部門以外の従業員につきましては、各国政府および自治体の感染拡大防止に関する指示や要請に基づき、地域の感染状況に応じて在宅勤務などを実施することで業務の遂行と感染リスクの低減に取り組んでいます。

今回の新型コロナウイルス感染症による非常事態により、社会の在り方や経営環境にさまざまな変化が生じています。当社グループは714億90百万円の現金及び預金を有し、自己資本比率は58.7%と健全な財務体質を維持しております。さらに、複数の金融機関との間で締結しているコミットメントライン契約額は300億円であり、不測の事態への対応手段を確保して事業を継続してまいります。

当社グループは、研究開発力や生産技術の強みを活かした最先端商品および高信頼性商品に加え、コア技術を活かしたソリューションビジネスを軸に、自動車、情報インフラ、産業機器、ヘルスケア、環境・エネルギーなどの注力市場を攻略することにより、中期目標の達成および経営ビジョンの実現を目指しています。さらに、収益性の向上や将来の部品需要の増加に応える体制を構築するため、ものづくり力の強化を進めています。生産能力の増強に加え、要素技術の高度化と生産工法の変革を進めることで、生産効率の向上を加速していきます。

当第2四半期連結累計期間の連結売上高は1,402億22百万円(前年同期比1.2%減)、営業利益は191億26百万円(前年同期比5.8%減)となりました。2020年3月から5月にかけて、新型コロナウイルス感染症の影響によるフィリピン、マレーシアの生産子会社における稼働制限が生じたことなどにより、減収減益となりました。経常利益は、為替差損7億81百万円などにより181億83百万円(前年同期比5.2%減)となりました。また、海外子会社における新型コロナウイルス感染症関連損失など特別損失32億円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は114億42百万円(前年同期比25.4%減)となりました。

当第2四半期連結累計期間における期中平均の為替レートは1米ドル107.22円と前年同期の平均為替レートである1米ドル109.26円と比べ2.04円の円高となりました。

製品別の売上高は次のとおりであります。

[コンデンサ]

積層セラミックコンデンサなどが含まれます。

当第2四半期連結累計期間は、通信機器向けの売上が前年同期比で減少したものの、民生機器向け、情報機器向け、自動車向け、情報インフラ・産業機器向けの売上が前年同期比で増加しました。その結果、売上高は926億72百万円(前年同期比5.5%増)となりました。

[フェライト及び応用製品]

巻線インダクタ、積層チップインダクタなどの各種インダクタ商品が含まれます。

当第2四半期連結累計期間は、通信機器向けの売上が前年同期比で増加したものの、民生機器向けや自動車向けの売上が前年同期比で減少しました。その結果、売上高は188億31百万円(前年同期比2.8%減)となりました。

[複合デバイス]

モバイル通信用デバイス(FBAR/SAW)、電源モジュール、高周波モジュール、部品内蔵配線板「EOMINTM(イオミン)」、関係会社における実装事業などが含まれます。

当第2四半期連結累計期間は、モバイル通信用デバイス(FBAR/SAW)や電源モジュールなどの売上が前年同期比で減少したことにより、売上高は214億6百万円(前年同期比17.5%減)となりました。

[その他]

アルミニウム電解コンデンサ、蓄電デバイスなどが含まれます。

当第2四半期連結累計期間の売上高は73億12百万円(前年同期比16.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の変動状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に対して328億58百万円増加しました。そのうち流動資産は232億6百万円増加しており、主な要因は、現金及び預金の増加118億68百万円、受取手形及び売掛金の増加73億99百万円、仕掛品の増加15億11百万円であります。また、固定資産は96億51百万円増加しており、主な要因は、有形固定資産の増加91億66百万円であります。

負債は221億12百万円増加しました。主な要因は、長期借入金の増加192億67百万円、未払法人税等の増加17億93百万円であります。

純資産は107億45百万円増加しました。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは184億92百万円の収入（前年同期比15.2%減）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益150億30百万円、減価償却費138億77百万円、売上債権の増加69億51百万円、たな卸資産の増加22億87百万円、法人税等の支払額19億78百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは224億30百万円の支出（前年同期比27.5%増）となりました。主な要因は、固定資産の取得による支出228億90百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは168億46百万円の収入（前年同期は8億59百万円の支出）となりました。主な要因は、長期借入れによる収入205億円、配当金の支払額18億80百万円であります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に対し118億1百万円増加し、690億86百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想は以下のとおりです。（前年同期比）

	連結累計期間
売上高	284,000百万円（0.6%増）
営業利益	34,000百万円（8.5%減）
経常利益	33,000百万円（6.2%減）
親会社株主に帰属する当期純利益	22,000百万円（22.1%増）

当第2四半期連結累計期間の業績は、電子機器を活用した在宅勤務や家庭学習の増加、スマートフォンの生産に向けた部品取り込み、自動車の生産回復などによる電子部品の需要増加を背景に、2020年8月7日に公表した業績予想を上回りました。

当第2四半期連結累計期間の実績及び今後の需要予測等に基づき、2021年3月期通期の連結業績予想を上方修正いたしました。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、第1四半期連結累計期間にフィリピン、マレーシアの生産子会社における稼働制限が生じたものの、当第2四半期連結会計期間は通常稼働に回復し、第3四半期連結会計期間以降も通常どおりの稼働状況が継続する前提としています。また、第3四半期連結会計期間以降の期中平均為替レートの前提は1米ドル105円です。

新型コロナウイルス感染症の影響による不透明さは依然として続いておりますが、中期的には電子部品の需要が増えていくというトレンドに大きな変化はないと想定しています。当社が注力すべき市場と位置付けている自動車、基地局通信装置・データセンタなどの情報インフラにおいて電子化・電装化や高性能化が進展し、大型・高信頼の電子部品の需要が拡大していくと見込んでいます。また、5Gスマートフォンなどを中心とした通信機器の高機能・高性能化が続き、高い技術力を必要とする最先端商品が増加すると考えています。それらの需要に備え、また、将来の成長に不可欠な投資を継続していきます。一方、今後のリスク対策として、より強固な分散生産の体制構築やAIなどを活用した生産効率の改善にも努めていきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	59,622	71,490
受取手形及び売掛金	64,680	72,079
商品及び製品	18,134	18,356
仕掛品	28,829	30,340
原材料及び貯蔵品	15,624	16,500
その他	5,220	6,604
貸倒引当金	△182	△236
流動資産合計	191,930	215,136
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	97,082	108,623
機械装置及び運搬具	278,081	289,375
工具、器具及び備品	27,578	28,508
土地	12,661	12,681
建設仮勘定	18,307	13,551
減価償却累計額	△289,311	△299,173
有形固定資産合計	144,400	153,567
無形固定資産		
その他	1,293	1,316
無形固定資産合計	1,293	1,316
投資その他の資産		
投資有価証券	2,671	2,883
その他	3,153	3,393
貸倒引当金	△326	△317
投資その他の資産合計	5,498	5,959
固定資産合計	151,192	160,844
資産合計	343,122	375,980

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,603	25,775
短期借入金	19,250	19,250
1年内返済予定の長期借入金	2,663	2,462
未払法人税等	1,903	3,697
賞与引当金	4,576	5,291
役員賞与引当金	233	144
その他	29,103	29,717
流動負債合計	84,333	86,339
固定負債		
長期借入金	34,752	54,020
役員退職慰労引当金	49	38
退職給付に係る負債	4,200	4,379
その他	9,332	10,003
固定負債合計	48,334	68,441
負債合計	132,667	154,780
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,575	33,575
資本剰余金	49,903	49,903
利益剰余金	150,263	159,687
自己株式	△8,596	△8,569
株主資本合計	225,146	234,596
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	430	777
繰延ヘッジ損益	△82	△6
為替換算調整勘定	△14,779	△14,016
退職給付に係る調整累計額	△824	△761
その他の包括利益累計額合計	△15,255	△14,007
新株予約権	563	611
純資産合計	210,454	221,200
負債純資産合計	343,122	375,980

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	141,908	140,222
売上原価	97,219	98,532
売上総利益	44,688	41,690
販売費及び一般管理費	24,390	22,563
営業利益	20,298	19,126
営業外収益		
受取利息	195	64
受取配当金	126	40
助成金収入	77	248
その他	87	118
営業外収益合計	486	472
営業外費用		
支払利息	185	179
持分法による投資損失	277	192
為替差損	931	781
休止固定資産減価償却費	120	142
その他	94	118
営業外費用合計	1,608	1,415
経常利益	19,176	18,183
特別利益		
固定資産売却益	130	32
投資有価証券売却益	16	15
特別利益合計	147	48
特別損失		
固定資産除売却損	370	375
減損損失	10	84
投資有価証券評価損	17	-
事業構造改善費用	-	418
独占禁止法関連損失	327	-
新型コロナウイルス感染症関連損失	-	2,083
その他	9	239
特別損失合計	735	3,200
税金等調整前四半期純利益	18,588	15,030
法人税、住民税及び事業税	3,209	3,752
法人税等調整額	47	△163
法人税等合計	3,256	3,588
四半期純利益	15,332	11,442
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,332	11,442

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	15,332	11,442
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△235	357
繰延ヘッジ損益	△42	75
為替換算調整勘定	△5,646	903
退職給付に係る調整額	20	59
その他の包括利益合計	△5,904	1,395
四半期包括利益	9,427	12,837
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,427	12,837

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	18,588	15,030
減価償却費	12,898	13,877
減損損失	10	84
事業構造改善費用	-	418
独占禁止法関連損失	327	-
新型コロナウイルス感染症関連損失	-	2,083
のれん償却額	315	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	38	40
賞与引当金の増減額(△は減少)	984	593
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△97	△89
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△81	△10
受取利息及び受取配当金	△322	△105
支払利息	185	179
持分法による投資損益(△は益)	277	192
固定資産除売却損益(△は益)	240	342
投資有価証券売却損益(△は益)	△11	△15
助成金収入	△41	△82
投資有価証券評価損益(△は益)	17	-
売上債権の増減額(△は増加)	△7,045	△6,951
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,665	△2,287
仕入債務の増減額(△は減少)	905	△1,258
その他	3,239	△29
小計	26,763	22,014
利息及び配当金の受取額	337	104
利息の支払額	△215	△154
独占禁止法関連損失の支払額	△449	-
新型コロナウイルス感染症関連損失の支払額	-	△1,493
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△4,629	△1,978
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,807	18,492
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△20,235	△22,890
固定資産の売却による収入	218	73
定期預金の増減額(△は増加)	2,299	△41
投資有価証券の売却による収入	186	44
助成金の受取額	141	182
その他	△201	202
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,591	△22,430
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,949	-
長期借入れによる収入	9,000	20,500
長期借入金の返済による支出	△1,245	△1,433
自己株式の取得による支出	△4,001	△2
配当金の支払額	△1,398	△1,880
リース債務の返済による支出	△233	△337
その他	△30	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△859	16,846
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,473	47
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,883	12,955
現金及び現金同等物の期首残高	51,654	57,285
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	-	△1,154
現金及び現金同等物の四半期末残高	53,537	69,086

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 製品別売上高

製品区分	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)		増減	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	増減率 (%)
コンデンサ	87,812	61.9	92,672	66.1	4,860	5.5
フェライト及び応用製品	19,376	13.7	18,831	13.4	△544	△2.8
複合デバイス	25,960	18.3	21,406	15.3	△4,554	△17.5
その他	8,759	6.2	7,312	5.2	△1,446	△16.5
合計	141,908	100.0	140,222	100.0	△1,685	△1.2

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。